# 令和５年度　総合政策部　経営計画書

| 職・氏名 | 経 営 方 針 | 経 営 資 源 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 総合政策部長<br>岡崎　清吾 | ●使命<br>総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。<br>また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。<br><br>●基本方針<br>①透明で開かれた市役所を目指して、市民目線での市政情報の広報に取り組みます。<br>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。<br>③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。<br>④適正な土地の利用を確保しつつ、本市の区域における土地の均衡ある発展のための計画的な土地利用を推進します。 | 所 管 課 | 秘書広報課、企画振興課 | | |
| | | 人　員 | 正職員 | 会計年度任用職員 | 合計 |
| | | | １２人 | ９人 | ２１人 |
| | | 一般会計 | １，７１０，１９５　千円 | | |
| | | 特別会計 | １６，１６８　千円 | | |
| | | 計 | １，７２６，３６３　千円 | | |
| | | （うち人件費） | （９８，５８１　千円） | | |

| | 重点項目 | 内容 | 成果目標 | 実績（3 月末） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ふるさと納税（応援寄附金）制度の推進 | ・新たな返礼品の開発や品目の拡充により、ふるさと納税による税外収入の確保を推進します | ・歳入確保と市のイメージアップのため、寄附者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。<br>目標：予算額の 8 億円以上（特設サイト分含む）<br>新規返礼品：100 品以上<br>・効果的な返礼品のプロモーションに取り組みます。 | 3 月末時点の寄附実績は個人版ふるさと納税が 47,787 件、1,030,004,575 円、企業版ふるさと納税が 24 件、32,986,007 円です。新規返礼品は 282 品登録済みです。返礼品の撮影・文字入れを 29 品実施しサイト掲載画像の差し替えを行いました。 |

| 重点項目 | | 内容 | 成果目標 | 実績（3 月末） |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進 | ・市外に向けて市の魅力や取組等を広く発信します。 | ・情報誌を年 4 回発行することにより市のファンを獲得し、関係を継続します。<br>ファンクラブ会員目標数：2,500 人 | ・情報誌は11月、3月の年2回発行しました。<br>・東京でファンミーティングを2月9日に開催し、参加者は140人でした。関係団体のPR、市の魅力の紹介、特産品・ふるさと納税返礼品の紹介を行い、参加者からは、市の魅力を知ることができ訪問してみたいという声をいただきました。<br>・1 月末時点のファンクラブ会員数は、2,503 人となっています。 |
| | | ・「広報せとうち」特集ページで重点施策を分かりやすく伝え、市政への関心を高めるよう努めます。 | ・8 月号、11 月号、2 月号で重点施策の特集を掲載します。 | ・9月号に6月定例会で審議された脱炭素先行地域づくり事業、自主防災組織等活性化推進事業、官民連携まちなか再生事業、SDG s 推進事業、学校給食共同調理場運営事業、農村地域防災減災事業の紹介を特集記事として掲載しました。<br>・全ページカラーとすることにより、見やすい広報紙としました。 |
| | | ・効果的かつタイムリーな広聴・広報により市内外への正確で迅速な市政情報の提供に努めます | ・Twitter、LINE や Youtube 等の SNS を活用し、市の情報を発信します。<br>発信回数：20 本以上(月間)<br>友達登録：10,000 人以上 | ・発信回数は月間平均16回でした。3月末より、市の公式LINEに各課からの配信を可能とし、発信しやすい環境を整備しました。<br>・SNSのフォロワー数、友達登録数等は3月末時点で計17,295人です。 |
| 3 | 国内・国際交流事業の推進 | ・友好都市との連携による国際交流を契機に瀬戸内市内へのインバウンドの増加に努めます。 | ・国際交流フェスタに密陽市、釜山市等訪問団を招待します。 | ・11月5日の国際交流フェスタ実施に合わせて、同実行委員会と連携し、密陽市（中学生を含む）、釜山文化財団、長崎県対馬市等から来賓の受入、朝鮮通信使を通じた交流を行いました。 |
| | | ・国際交流員の活動による国内・国際交流の推進に努めます。 | ・国際交流推進協議会や関連他市との連携による外国人への地域の魅力情報の発信や、市内在住外国人の生活を支えるための取り組みを行う。 | ・フランス人が勤務する県内4市町の連携により、それぞれの地域の魅力をフランスに発信するため、在日フランスメディアを招き11月に4泊5日のツアーを実施しました。各地の魅力を様々な媒体で海外に向けて発信しました。<br>・正しいごみの分別方法を外国人に伝える動画を環境部と協力して作成しました。今後、チラシ等で動画の周知を図ります。 |

| 重点項目 | | 内容 | 成果目標 | 実績（3 月末） |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 地方創生の推進 | ・第2期総合戦略の検証結果を踏まえ、次期総合戦略を策定します。 | ・国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、第 2 期総合戦略の効果検証を行ったうえで、総合戦略を改訂します。 | ・効果検証を行うとともに、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や他団体の動向について情報収集を行い、令和 6 年度の総合戦略改訂に向けた準備を行いました。 |
| | | ・地方創生による地域活性化を推進します。 | ・移住交流促進協議会と連携し、移住者の増加やリモートワークを推進する企業等の誘致を図ります。<br>相談会からの移住件数: 5組<br>相談会での相談件数:100 件以上<br>会員制度登録事業者数:20件<br>市内でリモートワーク体験をした事業者数：20 件 | ・リモートワーク会員制度のPRや移住相談会（8回：大阪3回、東京2回、ナイター3回）への出展を通して企業や移住希望者等130件の相談に対応し、10件の現地案内を実施しました。<br>・移住者の受入は7組20人、会員制度登録事業者は16件、市内でリモートワーク体験プランをした事業者は2件の実績となりました。 |
| 5 | 市民協働の推進 | ・市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 | ・ふるさと納税制度を活用した市民活動団体支援制度の規定を整備します。 | ・12 月 22 日に市民活動団体に対して制度説明会を開催し、1 月 1 日に瀬戸内市ふるさと団体応援寄附金交付要綱に沿って団体募集を開始し、1 月末現在で 1 団体からの申請を受理しました。<br>・令和 6 年 4 月 1 日からの寄附募集開始に向けて、市ホームページに専用ページを作成しました。 |
| | | ・新設した学生等チャレンジ補助金の活用を推進します。 | ・地域課題の解決に取り組む学生等の団体を支援します。 | ・審査会において 1 団体が採択されました（1 団体の応募）。<br>・8 月に地元の野菜を使ったカレーを提供するイベント「カレーフェスティバル」を、11 月に農作物の収穫体験イベントを実施しました。<br>・イベント前にサポート面談、イベント後に反省会を開催するなど団体の支援を行いました。 |

| 重点項目 | | 内容 | 成果目標 | 実績（3 月末） |
|---|---|---|---|---|
| 6 | 持続可能な地域コミュニティづくりの推進 | ・新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 | ・新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。<br>支援団体数：3 団体 | ・小学校区単位の地域自治組織の存在しない地区（国府小学区・行幸小学区・牛窓北小学区）において、地域の現況や課題についての聞き取りを行いました。また、12 月に国府地区において、地区内で活動する団体の代表者を集めて、まちづくり協議会設立に向けた意見交換を行いました。 |
| 7 | 持続的な公共交通網の維持 | ・地域公共交通計画に基づき、新たな公共交通不便地域が生じないよう公共交通網の維持に努めます。 | ・市営バス事業において、市民のニーズや意見を反映させつつ利用環境の更なる改善に取り組み、利用者数の増加を目指します。<br><br>目標:全 8 路線における 1 か月当たりの平均利用者数<br>R4（10～3 月）実績:約 8,200 人/月<br>→R5 目標：9,800 人/月 | ・3 月末現在の、全 8 路線における 1 か月当たりの平均利用者数は約 10,700 人/月で、目標を上回っています。<br>・12 月に実施した公共交通に関する市民アンケートの結果との集計・分析を行いました。結果は、次年度の市営バスのダイヤ改正等に反映させました。引き続き利用環境の更なる改善に取り組みます。 |
| 8 | 計画的かつ調和のとれた土地利用の推進 | ・都市計画の導入に向け、岡山県や関係機関と協議しながら、都市計画区域検討のための基礎調査や課題整理を実施します。 | ・基礎調査等を通じて都市計画区域の指定範囲を検討し、市としての方向性を決定します。 | ・都市計画区域の範囲について、県との協議の結果、都市計画マスタープランを作成しながら議論していくこととしたため、市としての方向性の決定は令和 6 年度に行うこととします。<br>・都市計画マスタープランの策定に係る市民参画の取組として、3 月に「瀬戸内市まちづくりワークショップ」を市内 5 ヶ所で開催し、都市計画制度の概要説明のほか、ワークショップを行い、地域のまちづくりにおける課題や意見を収集しました（参加者数 127 人）。また、PTA など若い世代を対象に説明や意見を収集する取組も行っています。 |

| 重点項目 | | 内容 | 成果目標 | 実績（3 月末） |
|---|---|---|---|---|
| 8 | | ・官民連携で、過疎地域のまちなかの再生・活性化（牛窓リノベーションプロジェクト）を進めます。 | ・地方創生拠点施設「牛窓テレモーク」を起点に、民間事業者や金融機関とも連携しながら、牛窓エリアの賑わい創出を促進します。<br>・エリア内での創業件数：4 件以上<br>・民間のまちづくり人材や行政委員、市等で構成する官民連携組織による「牛窓まちなか再生未来ビジョン」の策定 | ・来館者は 19 万人程度となっています。<br>・空き家や空き店舗を活用したエリア内での創業件数は、シェアハウス、美容室など 3 件となっています。<br>・「牛窓まちなか再生未来ビジョン」については、その策定の主体となるエリアプラットフォーム会議の開催や、地域住民や活動家、関係機関計 40 名へのヒアリング等を踏まえた現状分析、まち歩きを中心とした 5 回のイベント（延べ参加者数 96 名）の開催、将来像検討などを経て、3 月に作成、地域での報告会を開催しました。合わせて「歩いて楽しいまち」に資する「まちなか散策マップ」も作成しました。 |
| 9 | SDGsの推進 | ・持続可能な瀬戸内市の実現に向けたローカルSDGsを実現します。 | ・SDGs に関する普及啓発事業を行います。<br>普及啓発イベント・研修等開催数：2 回 | ・令和 5 年 8 月に岡山市が開催した「未来わくわく SDGs フェスタ」に岡山連携中枢都市圏として協力し、パネル展示を行いました。<br>・令和 5 年 7 月に市職員及びゼロカーボン推進パートナー（企業や金融機関）、岡山連携中枢都市圏職員を対象とした SDGs 研修を開催しました（参加人数 42 人）。<br>普及啓発イベント・研修等開催数：2 回 |
| | | | ・邑久高校と連携し「瀬戸内市オリジナル SDGs カードゲーム」を活用した出前授業等を開催することで市民と一緒に SDGs を推進します。<br>出前授業等開催数：10 回 | ・市新規採用職員研修でカードゲームを用いた講義を行いました。<br>・令和 5 年 8 月に開催された「おかやま SDGs フェア」に邑久高校と共同出展し、カードゲームの体験会を行い、SDGs の取組を PR しました（カードゲーム体験者約 80 人）。<br>・企業や市民団体に対して、カードゲーム出前講座を実施しました（3 回開催、参加数 30 人）。また、岡山市内の大学でカードゲーム体験会を開催しました。<br>・市内 2 か所の小学校（3 クラス）と 1 か所の中学校（1 クラス）でカードゲーム出前授業を実施しました。<br>・SDGs プラットフォームミーティングを開催し、邑久高校 1 年生と市に関わる様々な関係者でカードゲームの体験会及び SDGs 推進に向けた意見交換を行いました（参加者約 70 人）。<br>出前授業等開催回数：10 回 |